



無線バーコードリーダーSG600BTの使用時によくある質問について説明しています。該当する症状がないかをご確認ください。

こんなときには	原因と対処方法
バーコードリーダーを充電してもLEDが消灯している。 持ち上げてからクレードルに置いてもLEDが消灯したまま、または一瞬だけ緑に点灯後、「ピーピーピー」と音が鳴りすぐに消灯してしまう。 	内蔵リチウムイオン電池の寿命か故障しています。 交換が必要になりますので、次ページの方法で、バーコード本体の蓋が開くかをご確認のうえ、クオカード お客様相談室までご連絡ください。 ※電池の蓋は固着していて開けにくい場合があります。ドライバを使っても開かない場合や、危険と感じた場合は無理には続けず、お客様相談室にご連絡ください。 ①蓋が開く場合は交換用の電池を発送します。 ②蓋が開かない場合は交換用のバーコード一式(本体、クレードル、ACアダプタ)を発送します
クレードルのLEDが消灯している。バーコードリーダーをセットしてもバーコードリーダーのLEDが点灯しない。	本体に接続されているUSBケーブルとACアダプタ両方が抜けています。 両方のケーブルが正しく接続されているか確認してください。
クレードルのLEDは青点灯しているが、バーコードリーダーをセットしても消灯（または青色の点滅）したままで充電状態にならない。	本体に接続されているUSBケーブルは接続されていますが、ACアダプタが抜けています。 コンセントに正しく接続されているか確認してください。ACが抜けていた場合は充電されておらず電池残量が少なくなっています。LEDが緑になるまで充電を続けてください。
クレードルは青点灯で正しくペアリングされているが、バーコードを読ませると「ピピ」と短い音になってデータが表示されない。	USBケーブルが抜けている可能性があります。 クレードルとQUOカード端末の背面部に接続してあるケーブルが抜けていないかを確認します。
クレードルが青の点滅で、バーコードを読ませると「ピャッ」と短い音になってデータが表示されない。	クレードルのペアリングが外れているため、バーコードのデータが送れなくなっています。 次ページの方法でリセットを試して読めるようになるか確認します。

サポートについて

バーコードが読めなくなった、故障かな？と思ったらお問い合わせ窓口にご連絡ください。
お問い合わせ窓口

株式会社クオカード お客様相談室
電話番号：(0120)396-381
加盟店様用24時間受付

バーコードのリセットと蓋の外し方

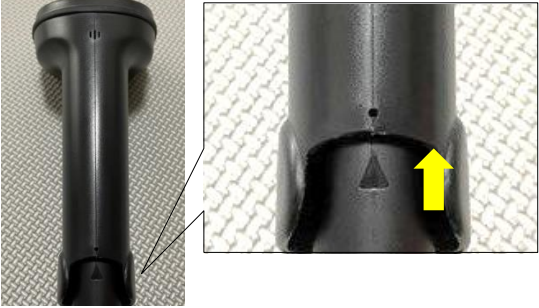
(1) クレードル(スタンド)の再起動をします。

- ① QUOカード端末に接続しているUSBケーブルを抜き、コンセントからACアダプタを外します。
- ② USBケーブルとACアダプタを再度接続し、バーコードリーダーが●青点滅、クレードルが青点灯の状態になるか確認します。

(2) クレードルの再起動を行ってもバーコードが読めない場合は、バーコードリーダーをリセットします。

プラスのドライバーと先端が2～3ミリくらいの細いマイナスドライバーを用意します。

	バーコードリーダー本体の底にあるネジをプラスドライバーで緩めて外します。 ネジ側についているグレーのゴムの部分と、下の突起の部分を指で挟み、引き抜きます。 蓋が外れない場合は、マイナスドライバを使って外せるかを確認します。
 上からしっかり握る	力をかけやすいようバーコード本体を横にして置いて、上からしっかりと握ります。
 間にドライバの先端を差し込む	グレー色のゴムの丸くなった部分の間にマイナスドライバの先端を差し込みます。 使用するドライバーはグレーのゴムより幅の狭いものをご使用ください。
 上から押しこむ 奥に押し出す	ドライバに体重をかけて上から強く押しこみます。外れない場合は押し込んでから奥に押し出すか、先端をひねるように回します。 この方法でも外れない場合は蓋のゴムが固着しているのでバーコード本体の交換が必要になります。 ※ケガをしないよう十分にご注意ください。 危険と感じたら無理には続けず、お客様相談室にご連絡ください。

 手のひらにあてるように	蓋が外れたら電池を取り出します。 バーコードリーダー本体を立て、手のひらにあてるようにたたくと電池が抜けます。 この時に電池を落とし衝撃を与えないようご注意ください。
	電池を取り出した時と同じ向きにセットします。電池には△の刻印があります。向きを確認してから電池をセットします。
 逆に入っている 正しい向き	電池を入れた時に金色の電極が見えていたら逆にセットしています。最後まで差し込まずに向きを変えてください。 間違えてセットすると電池が抜けなくなってしまう、バーコード式の交換が必要になりますのでご注意ください。 蓋をして、ネジを締めてください。
 青色で点灯したらペアリング正常 点滅したままの場合はバーコードを読み取ります。	「ピピピ」、「ピピピ」と2回続いて音がした後に、「ピピピピ（音が高くなっていく）」が鳴り、クレードルのLEDが青く点灯したら正しくペアリングできている状態です。 「ピピピピ」が鳴らず、クレードルのLEDが青色で点滅している場合は正しくペアリングできていません。 クレードルの底部に貼ってあるバーコードをスキャンしてください。30秒～1分ほどで再ペアリングされ、クレードルのLEDが青に点灯します。1分待ってもペアリングされない場合は故障が考えられます。お客様相談室までお問い合わせください。

- (3) リセットが完了したらバーコードが読めるかを確認します。
 QUOカード端末の[先頭メニュー]ー[次のページ]ー[次のページ]ー[自己診断]ー[機器診断]ー[バーコードリーダー]の順にタッチします。
- (4) 画面のバーコードを読み取り、読取結果OKと表示されれば正しく動作しています。